

令和7年度 芦子小学校 第1回学校運営協議会

日時：令和7年6月13日（金）

場所：2階会議室

【第1部】

（1）開会

（2）校内参観

【第2部】

（3）校長挨拶

- ・今年度は、児童数が昨年度に比べて減少した。
- ・概ね落ち着いたスタートだが、進級・環境の変化等により落ち着かないお子さんもいる。
- ・コミュニティ・スクールについて
保護者・地域の方の声を学校運営に生かす仕組み。
地域学習の充実に向け川口広蔵について語れる方を探している。

（4）会長挨拶

- ・他校の学校運営協議会にも参加しているが、学校によって様子が違う。

（5）委員の任命

（6）自己紹介（校内を参観しての感想交流も含めて）

- ・久野小の学校運営協議会の委員もしているが、久野小に比べて挨拶が少ない印象があった。
- ・学校が古くなったなと感じた。
- ・PTA役員を通して、保護者のつながりを持てるようにするのが課題。
- ・今日は比較的静かだった。久野小のように授業中でも、大人に挨拶ができるのは、よい習慣かもしれない。
- ・スクボラに協力してくださる方が決まっているのが課題である。1回でもいいので参加してもらえるように宣伝活動を進めたい。
- ・先生と保護者・地域の方々との関係も密にしていけると良い。
- ・ボランティアで、子どもの様子が見れることをアピールしていくとよい。

（7）報告事項

- ア 学校教育目標、経営の重点等本校の教育方針について（校長）

※学校要覧参照

- ・関わる力・・・あいさつ運動（昨年度重点として取り組んできた。）
大人が挨拶をする姿勢を見せていくことの必要性は教職員の中でも共通理解している。地域・保護者の皆様の力もお借りしたい。
地域への興味・関心を高める学習も積極的に取り入れていきたい。
多くの方に学校運営を見ていただけるようにしたい。
- ・健やかな体・・・学校・地域・家庭が協力して取り組んでいきたい。

イ 年間教育計画・研究計画等について（教務）

- ・学校公開日を年間6回、昨年より回数を増やしている。
（親子清掃なども計画していきたい。）
- ・国語科を通して研究を深めていく。
- ・今年度も筑波大附属小学校弥延浩史先生に研究アドバイザーをお願いする。

（8）協議事項

ア 児童の安全対策について

○地震・津波等災害時の対応について

・発災時等の対応について家庭ではなかなか話し合いがなされていない。

- ・4月に配付すると、たくさんの書類と紛れてしまう。子どもたちにきっかけを作ってから配付すると良いかもしれない。（配付時の工夫）

○学校防災マニュアル・危機管理マニュアルについて

- ・教職員で共有している。
- ・風水害についての連絡は、基本さくら連絡網・ホームページで行う。
- ・大災害の際、教職員は学校再開に向けて動くことになる。
- ・内側から鍵をかけられない教室がいくつかある。
→職員が行っているので、地域の方にもご協力をいただきたい。
- ・簡単につけられる鍵をつけておかないと不安が残る。
- ・マニュアルについては、ご覧いただき、次回ご意見をいただきたい。

○登下校指導について

- ・今年度は下校指導に特化して行うことにした。（全12回）
- ・通学路安全マップについては、内容の見直しも進めていきたい。
→まちづくり委員会で改定に取り組んでいただく予定。
- ・通学路を通っていない子が多い。（保護者も知らない方が多い。）

- ・通学路安全マップの中に記載されているが、改善できている所もある。

イ いじめ防止基本方針について

- ・ホームページに掲載している。
- ・昨年８月に文部科学省から改訂版が出されている。
- ・気になることがあればまた教えていただきたい。

ウ 通学用の帽子について

- ・目立つので色は黄色が良いのかもしれない。
- ・メッシュの方が、通気性がよくてよい。

(9) 質疑・情報交換

○学校の働き方改革について（資料参照）

○いじめによる不登校はいるのか？

→数名ではあるが不登校はいる。今年度より、教室に足が向きにくい児童の対応のための学習室を設置している。市内のフリースクール・インターナショナルスクールに通う子もいる。（いじめが原因ではない。）

(10) 閉会